【 参　考　資　料 】

一般国道45号(三陸国道管内)における津波対策

■対 策 概 要

三陸国道事務所では津波対策として下記事業を実施し、安全で円滑な交通を確保するとともに、津波被害の最小化を図ります。

- **監視カメラの整備**(H16～19：34基)

  津波等の緊急時における道路状況･被害状況等の迅速かつ的確な情報把握を図ります。

- **道路情報板の整備**(H16～19：32基)

  津波警報･注意報等の情報提供、津波浸水区域への交通流入の抑制、通行規制･迂回路情報･被災状況等の周知を図ります。

- **津波浸水想定区域表示標識の整備**(H18～19：津波浸水想定区域　36箇所)

  津波浸水想定区域の前後及び区域内に道路標識を設置し、地域住民や道路利用者に対する津波浸水想定区域の周知を図ります。

  【H18：津波浸水想定区域の前後に案内標識を設置】

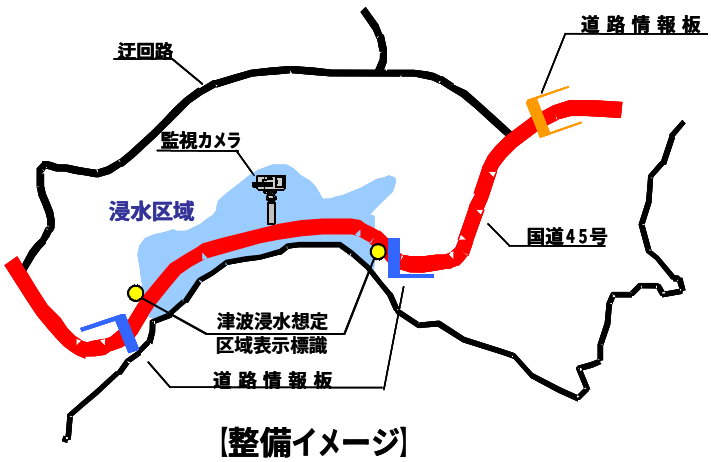
  津波浸水想定区域36箇所を14ブロックに統合し、想定区域の前後に全28基(56面)の案内標識を設置。

  【H19：津波浸水想定区域内に注意標識を設置】

  津波浸水想定区域内に約150基(500m間隔で設置)の注意標識を設置。

- **津波情報マップの配布**(H19予定)

  津波浸水想定区域に関するリーフレットを作成し、道の駅等で配布することにより、道路利用者や地域住民に周知を図ります。



【整備イメージ】

1	地震発生！ ラジオつけよ！	交互 表示
2	津波注意報発令 この先走行注意	交互 表示
3	津波警報発令 この先浸水危険	交互 表示
4	津波発生 この先通行不可	交互 表示
5	一般車通行不可 緊急車両優先！	交互 表示

【道路情報板表示例】



【監視カメラ設置状況】



【道路情報板(大型)設置状況】



【道路情報板(小型)設置状況】

津波浸水想定区域の境界表示	区域内に設置される標識
津波浸水想定区域の始点・終点を示すものです。地震発生時には、ここから津波による浸水の危険があることを表示しています。 《始点側》 《終点側》 45 これより先 Start 津波浸水想定区域 Estimated Tsunami Inundation Area 津波浸水想定区域 Estimated Tsunami Inundation Area 45 ここまで End 注）始点・終点は自動車の進行方向によります。	津波浸水想定区域内であることを示しています。 津波注意！ Tsunami attention

【津波浸水想定区域表示標識のレイアウト図】